



浜松の中山間地域と生きる



浜松市山里いきいき応援隊
(地域おこし協力隊)

栗島 洸

自己紹介 ～ 山里いきいき応援隊 栗島 洸 ～

★ 出身

浜松市天竜区春野町田河内

★ 生まれ

平成3年・農林業を営む家の次男

★ 前職

農林水産省 林野庁（国家公務員）

★ 現職

浜松市山里いきいき応援隊
（地域おこし協力隊）水窪担当

★ 趣味

森林散策、地域めぐりなど



本日の流れ

PART1：私と中山間地域 ～ 生まれ育って、離れて、戻るまで ～

- ★ 地元天竜区春野町田河内集落の暮らし
- ★ 高校・大学・就職 ～地元を離れて～

PART2：私の仕事 ～ 中山間地域で働く！ ～

- ★ 天竜区水窪町について
- ★ 地域おこし協力隊（山里いきいき応援隊）について
- ★ 私の仕事内容
 - ・ 地域課題と要望
 - ・ 私ができること

PART3：中山間地域の暮らしに興味がある人へ

- ★ 大学生と中山間地域の関わり
- ★ 中山間地域について私が思うこと
- ★ さいごに

<PART1>

私と中山間地域

～ 生まれ育って、離れて、戻るまで ～

★ 地元天竜区春野町
田河内集落の暮らし

★ 高校・大学・就職
～ 地域を離れて ～

**地元天竜区春野町
田河内集落の暮らし
0歳 - 15歳まで**

天竜区春野町

人口：3,873人 ※令和3年12月時点

(天竜区人口の約14%、浜松市人口の約0.5%)

面積：252平方キロメートル

(天竜区面積の約27%、浜松市面積の約16%)

<町の特徴>

秋葉神社が有名。浜松市街からも比較的アクセスが良く、キャンプやサイクリングに訪れる人が多いです。特産品はお茶・シイタケなどの農産物。



田河内集落

人口：86人（38世帯）

※令和3年12月1日時点

<集落の特徴>

春野町の東側で川根本町との境に位置する集落。かつて集落の子供たちが通った田河内小学校は、昭和44年に閉校。集落共同の茶畑で緑茶の生産を精力的に行っています。



田河内集落 立地



天竜区役所まで…50分程度
浜松市役所まで…1時間35分程度

川根本町役場まで…30分程度
島田市役所まで…1時間15分程度



- ・ 熊切小学校、春野東中学校まで路線バスで45分程度かけて通いました
- ・ 中学校2年生に上がるときに春野東中学校が閉校
- ・ 町内の3つの中学校が統合して開校した春野中学校にスクールバスで通いました

同級生が周辺に住んでいなかったため、土日はもっぱら兄妹と山や川で遊びました



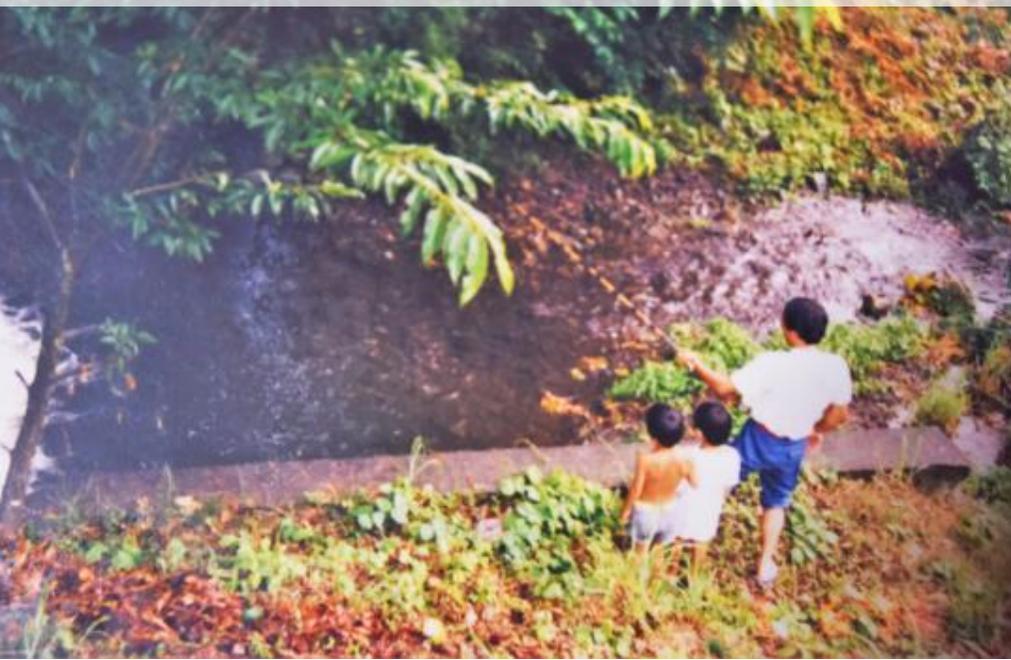


春野町田河内の暮らし





春野町田河内の暮らし



休憩 ～ 動画視聴 ～

茶畑のある暮らし

浜松市天竜区春野町田河内

高校・大学・就職
～地元を離れて～
16歳 - 28歳

浜松北高等学校（普通科）

- ・ 地元を離れ3年間下宿生活
- ・ 近所にコンビニや飲食店がある驚き
友達と街なかで遊ぶ新鮮さ
- ・ 週に7日間活動する部活だったため、実家帰省はあまりできず。土日に休みをとって月1回程度の頻度で帰省。



東京農工大学 農学部 （地域生態システム学科）

- ・ 森林・林業、地域社会、農村振興等の専門分野に加え、理数系の教養分野を広く学ぶ。
林学科コースを専攻。
- ・ 実習が多く、東京にしながら高校時代よりも森林・林業に関わる時間が増える
- ・ 卒業研究で実家の山林経営を対象とした研究を行い、卒論を執筆



悩

地元？



衰退していく
地元を離れて
生活するほどの
意義があるのか

林業振興を通じ
て地元や同じよ
うな課題を抱え
ている地域を
支えたい

東京？

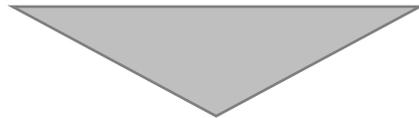
地元にいる方が
自分の存在価値
があるのではな
いか

地元ですぐに
駆け付けられ
ないのは
後ろめたい

決

そうはいつでも・・・

- ・ 地元に戻って働く方法（ましてや林学専攻の大卒）
なんてわからないし情報も少ない
- ・ 林業系公務員なら、林業や木材産業に関わり
ながら地元や同じような課題を抱えている地域の
支えになれるのではないか



農林水産省林野庁に就職

前職・林野庁での仕事

【東京】平成27年度、平成30～令和元年度 →

- ・ 林業や木材産業を支援したり、森林を保全したりするための制度や決まり事（法律）を作る
- ・ 国会答弁の作成、政策についての説明資料や広報資料の作成



← 【北海道】平成28～29年度

- ・ 国有林の管理・経営
 - 十勝地方の約4万haの森林が職場でした
- ・ 樹木の生育調査、林野巡視、森林教室、林業の現場監督、倒木処理など

5年間林野行政に携わったことで、森林・林業の現状や国の政策作りの過程など多くのことを学ぶことができました。

就職後も…

悩

今の職場は好き
だけど…



衰退していく
地元を離れて
生活するほどの
意義があるのか

林業振興を通じ
て地元や同じよ
うな課題を抱え
ている地域を
支えたい

5年もすれば地元への
こだわりも消えると思っ
ていたけど…

地元にいる方が
自分の存在価値
があるのではな
いか

地元ですぐに
駆け付けられ
ないのは
後ろめたい

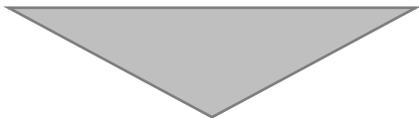
一大決心

決

令和2年3月

退職して地元周辺にUターン

- ・退職後の就職先は地元でじっくり考えるつもりだったが、、
- ・偶然地元浜松市の地域おこし協力隊（山里いきいき応援隊）の募集案内を見つける



令和2年4月

天竜区水窪町の地域おこし協力隊に

<PART 2>

私の仕事

～ 中山間地域で働く！ ～

- ★ 天竜区水窪町について
- ★ 山里いきいき応援隊について
- ★ 私の仕事内容

天竜区水窪町について

天竜区水窪町

人口：1,805人 ※令和3年12月時点

(天竜区人口の約7%、**浜松市人口**
の約0.2%)

面積：271平方キロメートル

(天竜区面積の約29%、**浜松市面積**
の約17%)

<町の特徴>

西浦田楽などの伝統文化が残っています。
高根城、山住神社なども有名です。粟などの
雑穀や水窪じゃがたなどの在来の作物が
今も育てられています。

西浦田楽



休憩 ～ 動画視聴 ～

水窪

misakubo



**山里いきいき応援隊
(地域おこし協力隊)
について**

山里いきいき応援隊ってどんな仕事？

山里いきいき応援隊とは・・・総務省の「地域おこし協力隊」制度等を活用した中山間地域の支援事業。浜松市では平成25年度から実施しています。

制度目的：中山間地域に、都市部など外からの人材を積極的に誘致し、**地域協力活動**を通じて中山間地域への定住・定着を図りながら、地域の維持・活性化を図る

活動期間：3年以下（年度ごとに委嘱を更新） **財源**：特別交付税

「地域協力活動」の例

① 地域の産業振興に係る支援



② 集落の生活環境維持に関する支援



③ イベント補助など地域活性化に係る支援



～明確な定義はありません～

それゆえに、適切な活動をするよう徹底しています。地域の課題に真摯に向き合って、地道に解決していくことが、一番大切だと思っています。

活動地域と各地のメンバー

R3.1～ 山田 恵美莉 (やまだ えみり)

R3.5～ 青島 翔平 (あおしま しょうへい)

R3.4～ 鈴木 千陽 (すずき ちはる)

R3.4～ 長谷山 大騎 (はせやま だいき)

H31.4～ 藤田 裕幸 (ふじた ひろゆき)

R2.4～ 水野 真彰 (みずの まさあき)

R2.4～ 栗島 洸 (くりしま こう)

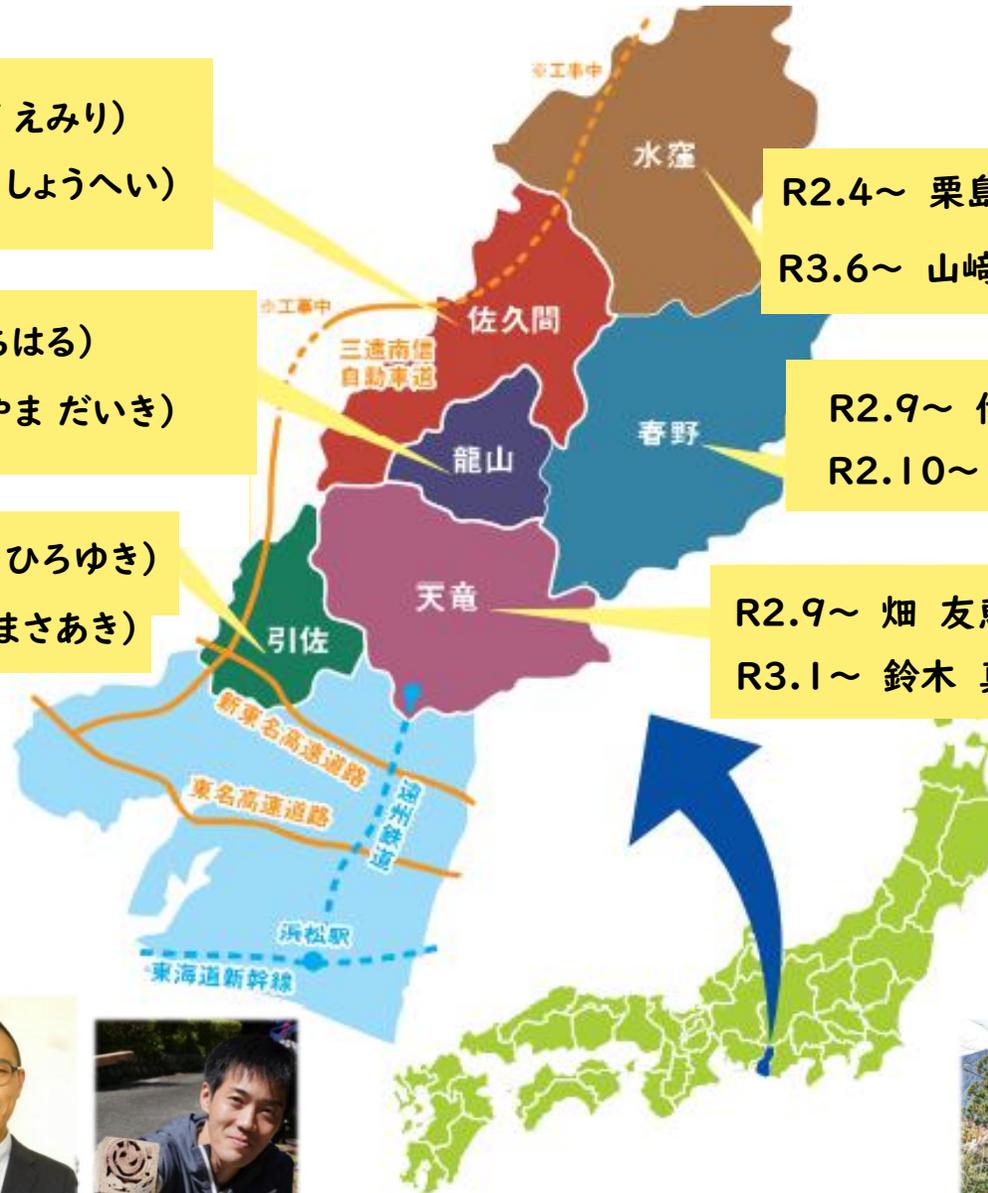
R3.6～ 山崎 洸一 (やまざき こういち)

R2.9～ 伊澤 純子 (いざわ じゅんこ)

R2.10～ 前田 萌 (まえだ もえ)

R2.9～ 畑 友恵 (はた ともえ)

R3.1～ 鈴木 真里 (すずき まり)



山いき隊の仕事 ～ 各地で活動しています！ ～

農



協働



猟

食



奉仕



文化

発信



龍山魅力発信チャンネル
@tatsuyama.village・コミュニティ

山



私の仕事内容

- ・ 地域の課題 ・ 要望
- ・ 私にできること

活動の流れ

地域の方から依頼をいただく・自身で課題を見つける

支援・実践

働く

体験する

歩く

見る

聞く

読む

作る

撮影する

記録・保存・発信

隊員通信（回覧）

文章化・資料化

HP・SNS

動画編集

展示

主な活動のジャンル ▶▶

山

農

文化

暮らし

IT

教育

PR

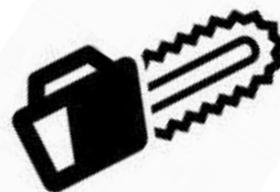
山

課題・要望

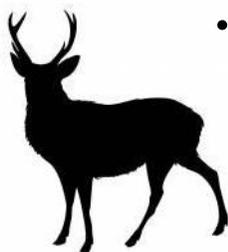


- ・ NPOが登山道整備活動や山歩きイベントを精力的に行っているが、人手が足りない

- ・ 森林が96%を占める地域だが、有効に活用されていない



- ・ 農林業への鳥獣被害が多くて困っている



山



水窪町森林組合

森林を知り森林を守る
～次世代へのつなぎ役～

水窪町は、町の96%を森林が占める緑豊かな地域です。しかしながら、近年は、林業技術者の減少や高齢化により、地域の豊かな森林資源を使いながら適切に維持していくことが難しい状況となっています。

このような中、水窪町森林組合では、「森林を知り森林を守る～次世代へのつなぎ役～」を基本理念とし、林業に再び光を当てるとともに、地域の美しい森林を次世代につなげることを目的として、「木を植える」「木を育てる」「木を伐採する」「山を調査する」などの山をフィールドとした様々な事業に取り組んでいます。

森林組合の仕事は、職員と現場従業員の2つに大きく分けられます。

職員は、森林の調査や森林を管理するための計画立案、経理事務などの事務作業を含めた業務全般を行います。

現場従業員は、職員の立てた計画等に基づいて、林内で作業を行います。

木は植えてから伐採するまでに数十年がかかります。この気の遠くなるようなサイクルを地道に回し続けることが、次世代に美しい森林をつなげていくためには必要であり、森林組合もその歯車の一つとして、働いています。

山しごとは、長い時間をかけた循環作業です



<職員の一日(例)>

8:00		12:00		17:00	
出社	<各担当ごとに業務> 経 計 打 山 測 立 P 現 理 画 合 山 測 立 P 現 事 作 合 林 量 木 C 場 務 務 巡 査 調 調 調 監 成 視 査 査 業 督 等	昼食	<各担当ごとに業務> 経 計 打 山 測 立 P 現 理 画 合 山 測 立 P 現 事 作 合 林 量 木 C 場 務 務 巡 査 調 調 調 監 成 視 査 査 業 督 等	退勤	
	打合せ		立木調査		調査結果取りまとめ等

山の仕事ギャラリー



★水窪町森林組合のホームページはコチラ！

<https://misakubo-shinrinkumiai.jimdosite.com/>



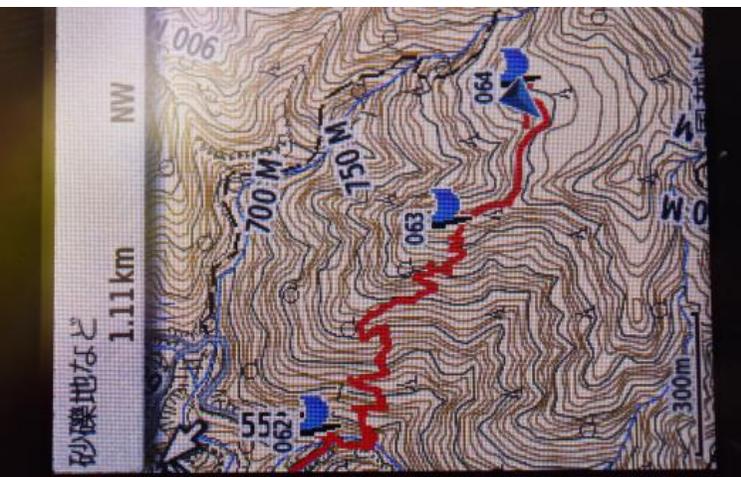
所在地：浜松市天竜区水窪町地頭方248-1
電話：053-987-0035 FAX：053-987-1018
営業：8：00～17：00（土日祝休）

山

課題・要望

- ・勉強会や研修の場として、また移住希望者の再就職先の候補として市内の林業事業者等を紹介してほしい
- ・自分の所有山林の状況がわからない。
どこが自分の山なのか、どういう山なのかを把握した上で、今後の山との関わり方を相談したい。
- ・森林のことを学びながら山歩きをしたい
- ・企業のCSR（社会貢献）活動として森林・林業に関わりたい

山



農

課題・要望

- ・ 歳を取って年々農作業が大変になってきた。収穫時期、力仕事など、助けがほしい。
- ・ 水窪地域の特徴である、雑穀や水窪じゃがたなどの伝統作物を後世に残したい
- ・ NPOの支援をしてほしい。特にイベントのチラシ作りや広報支援など。



課題・地域の要望

- ・ 高齢化や時代の流れで地域の伝統文化や技術が失われていく
- ・ 若い人にも伝統文化の担い手になってほしい
- ・ 地域の伝統文化を地域外にも発信してほしい

文化





課題・要望

- ・ 少子高齢化が進み、それぞれの集落の機能を維持するのも大変。暮らしの支援をしてほしい。
- ・ 草刈りや施設の清掃など街の見栄えを良くしたい
- ・ 大人も子供も気軽に集まれるような場所があるといい



課題・要望

- ・ ホームページを作って自社のPRをしたいが、作り方がわからない。SNSを使った広報等もしたいが方法がわからない。
- ・ 家族や周りに人に勧められてスマホを購入したが、全く使い方がわからない。これからはスマホがないと大事な情報が得られないと言われているので、なんとか習得したい。



IT

INFORMATION

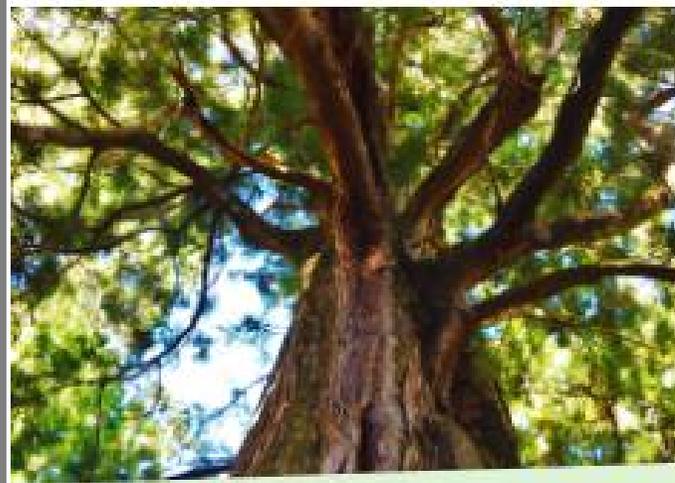
<みさくぼ耳より情報>

【バーチャル物産展】

11月1日から12月15日まで、「水窪特産品 バーチャル物産展」が実施されます。町内の商店の商品や地域の特産品をお取り寄せできます。水窪町の風景・出展者のお店紹介などを撮影した特製DVDも同封されます。商品一覧や詳細情報は[観光協会HP](#)から



水窪町森林組合 三



森林を守り育てる



水窪町森林組合では「森林を知り、森林を守る～次世代へのつなぎ役～」の理念のもと、天竜区水窪町の森林をフィールドとして様々な事業を行って

課題・要望

- ・ 地元を離れてしまうのは仕方がないことだけど、子供たちには地元で愛着を感じるような体験をたくさんしてほしい
- ・ 子供たちには、自然の中でここでしかできない遊びをしてほしい
- ・ 湖北高校佐久間分校を存続させたい



教育



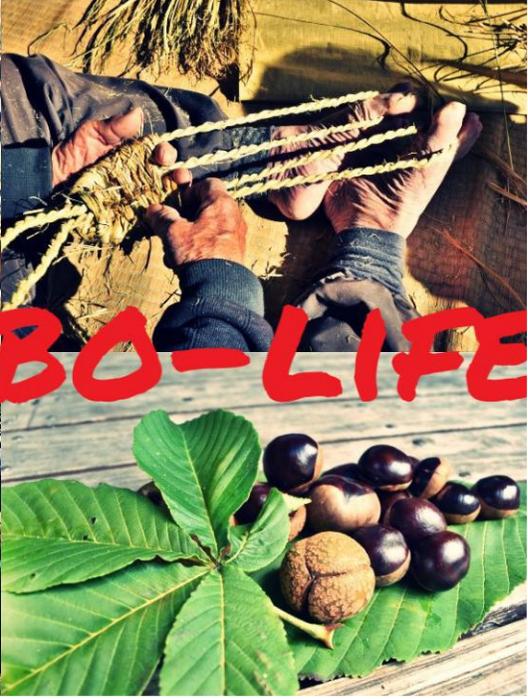
課題・要望

- ・ コロナ禍で地域への来訪者が減少
- ・ 地域の魅力を地域内外に発信してほしい



PR

MISAKUBO-LIFE



山勤めと 幼少の記憶

白根峠～青根峠歩道にて (令3.4)

■ 栗谷 修さん ■

★昭和二年生 水窪町長尾在住
★昭和三八年 水窪営林署に就職
・ 定年後も非常勤職員として国有林のバトロールや登山道整備を実施

■ 国有林の仕事と思い出

営林署に入ってから、森林鉄道の保線とか集材機や重機の運転もやっただけ、たいがいのは経験したね(※)。駆け出しの頃、袋や正月で山を下りるときには、班の人(臨時雇用の作業員)がおこづかいをくれるのが嬉しかったよね。ご苦労様でした(分(報酬)ももらえないからね。おらは常用だから定額だったけど)。伐採する衆も材を運ぶ衆も出衆高だっつね。その日の作業終わりの時分になると、「晩酌代!」つってちよつとだけ余分に仕事してたよ。

「あ、この山は黒根峠でその横が丸笠。そんでその黒根を越えていくと、水窪の山を無知している熊谷さん、一緒に山を歩くと、遙くの山を指さしながら「知らず知らずと山の名前が出てきます。山のことを知りたいたい私にとっては、長年水窪の山を走らせてきた栗谷さんから学びたいことは山のようにあります。」

水窪には色々な分野で深い経験と知恵を持っている方がたくさんいらっしゃいます。こういった方々のお話を深く伺うことで、自分も水窪のことを語り継ぐことができるのを感じました。取材を始めた。皆さんにとってもこれらのお話が新たな発見になれば幸いです。

※ できる限りご本人の言葉のまま、語り口調の文章にしました。(一)書き下し一部補完をしております。



鹿の甲にて (令3.7)



【※解説】当時は山奥の木を索道(ワイヤー)で吊り下げた輸送機を使って物を運ぶ仕組み)や簡易な軌道(鉄道)を使ってある程度のところまで下ろし、そこから森林鉄道の本線に積みかえて町の貯水場まで運んでいました。

鉄道路線は、貯水場を起点に二キロメートルほどあったのですが、水窪ダムの建設や林道の整備に伴い昭和三九年に全線が廃止になっています。

森林鉄道



<PART 3>

中山間地域の暮らしに 興味がある人へ

- ★ **大学生と中山間地域の関わり**
- ★ **中山間地域について私が思うこと**

大学生と中山間地域の関わり



遊ぶ



キャンプ、登山、森林散策、釣り、川遊び、
サイクリング、ピクニックetc...



体験
学ぶ



伝統行事の見学・観光、研究対象として、農作業体験、NPO等が主催するツアーへの参加etc...

地域の団体や
コミュニティに継続的
に関わってみる

地域の団体や
コミュニティに
属してみる

属する

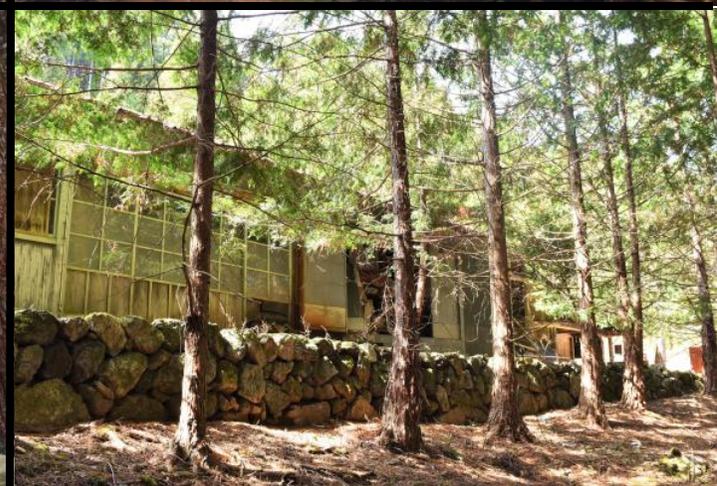
地域おこし協力隊
になってみる
※あるいは体験してみる

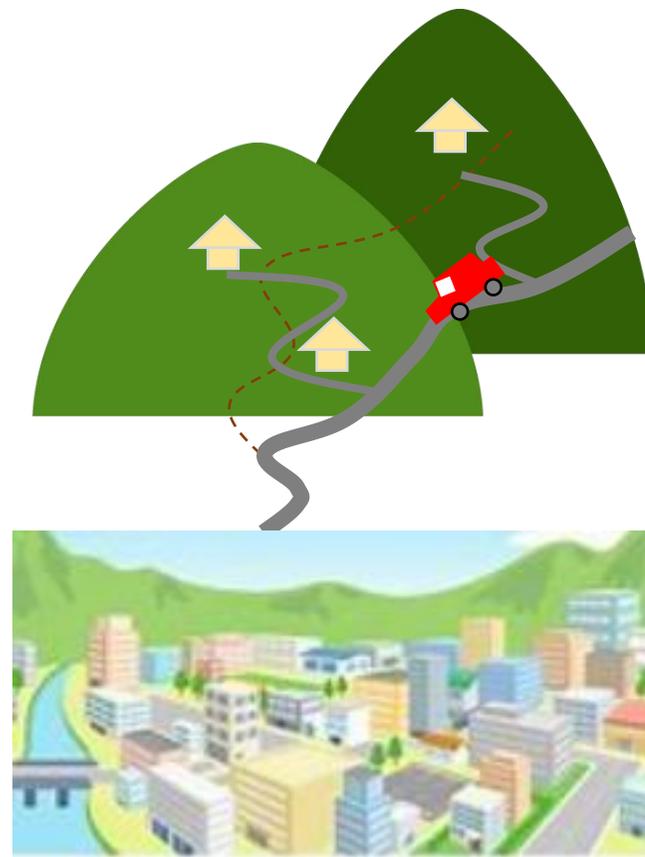
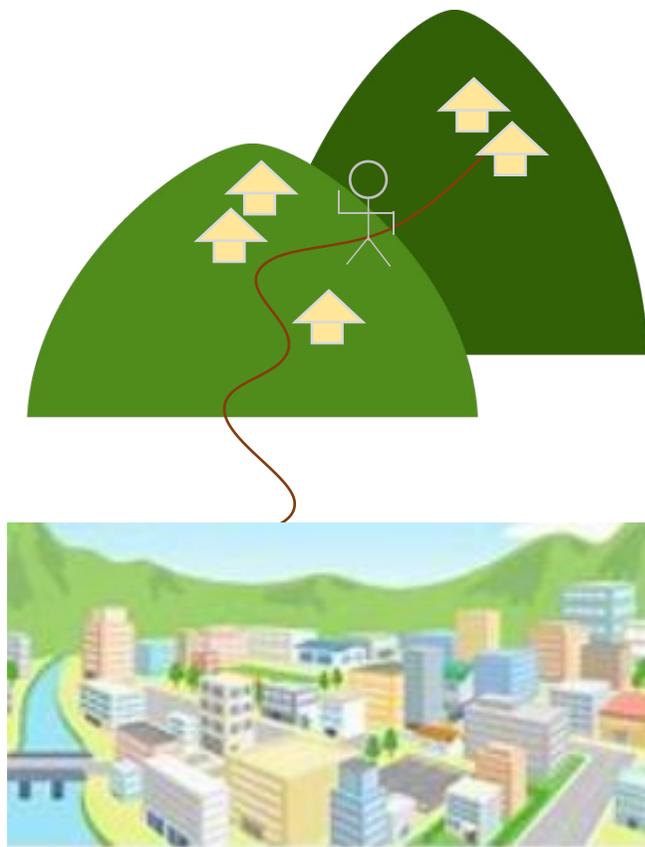
大学卒業後、中山間
地域への居住・就職
を検討してみる

興味がある方は、遠慮なく各地の山里いきいき応援隊に相談してみてください。
【SNSを通じて、市の窓口を通じて、直接赴いて】
どんな方法でも歓迎します。

中山間地域について 私が思うこと

時代の流れと 中山間地域





移動手段の発達（歩き → 自動車道、鉄道）



道路が未整備の山間の集落同士の交流がなくなる
住みやすい町場への人の流出が増加する



街場にも通えるようになり、暮らしはとても豊かになったが、
中山間地域の中の人々の暮らしの距離はかえって離れてしまった

より良い暮らしを求めて暮らしの形を変えていくことで、 得ることもあれば、失うこともある

- ・時代とともに新しい技術や思想が入ってきて、現状よりも暮らしを豊かにする選択肢を中山間地域の人にも与えてくれる
- ・それが中山間地域からの人の流出を促したり、従来の文化や伝統を衰退させる方向に働くことも（前スライドの内容しかり）。

—— 新しい技術や思想が世の中の「人」の暮らしを豊かにすることにつながっても「中山間地域そのものの豊かさ」や「人の心の豊かさ」にはつながらないこともある。

—— 便利でなくても、栄えていなくても、今まで通りでも、愛着のある土地で愛着のある暮らしをしたい。

では、どうすれば...

正解がない複雑な問題。

一言に「地域を良くする」と言っても、色々な考え方があある。地域の人にとって「地域を良くする」ことがどういう状態を指しているのかを、把握する必要。



地域の要望を把握して、地域の方と一緒に悩んで考えて活動を実践していく

～私が思う～ 中山間地域の良いところ

★ 一人だけ・一家だけでは生きていけない

- ・冠婚葬祭、季節行事、環境整備、困ったときはお互い様。
- ・厳しい環境を生きてきたからこそ、人と人、家と家の結びつきが強いです。

★ 伝統文化や暮らしの軌跡が色濃く残る

- ・長く続いてきた**祭事**や**風習**がたくさんあります。
- ・昔の集落跡、街道、産業の遺産が山の中にひっそりと残っていて歴史を感じます。

★ 子供を大事にする

- ・地域の人が、子供を**自分の家の子供や孫のように大切**にしてくれます。
- ・小中学校でも、地域の人を講師に迎えた地域学習などを積極的に行っています。

★ 「生きること」「次世代につなげること」を目的に働く

- ・生きるため、次世代に暮らしや文化をつなげていくために、「**労働する・収穫する・捕獲する・料理する・自然をおそれ敬う**」。
- ・そういうことを身近に感じることができる中山間地域の暮らしが私は好きです。

さいごに

中山間地域のイメージが湧いたでしょうか？

- ★ 興味を持ってくださった方、是非遊びにいらしてください！
- ★ 地域に関わってみたいけど方法がわからないという方、遠慮なく相談してください！

<山里いきいき応援隊 水窪地域担当 栗島 洸>

メール：kurishii66@gmail.com

- ※ facebook、ホームページ等を介しての連絡も歓迎します！
ホームページ「**水窪らいふ**」では、地域のトピックや自身の活動成果等の情報を随時発信しています。

<浜松市市民協働・地域政策課>

電話：[053-457-2094](tel:053-457-2094)

市の中山間地域行政の窓口です。山里いきいき応援隊の募集情報や市内の中山間地域の紹介等を浜松市ホームページに掲載しています。